

| 科目名 | | 必修・選択 | 単位数 | 類型 |
|---------------------|---|-------|-----|-----|
| 英語コミュニケーションⅠ | | 必修 | 4 | 普通 |
| 総合英語Ⅰ（英語コミュニケーションⅠ） | | 必修 | 4 | G C |
| 教科書 副教材等 | Heartening English CommunicationⅠ（桐原書店） Heartening English CommunicationⅠ Advanced Exercises [予習ノート]（桐原書店） Heartening English CommunicationⅠ Advanced Exercises [ワークブック]（桐原書店） 単語学習用教材（書名未定） | | | |

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 学習概要

学習目標に到達するために、英語を「聞く」「読む」「話す」「書く」の様々な活動を授業で取り入れながら、単語・熟語・慣用表現・文構造・文法を習得していきます。また、基礎的な語彙力の確認と、大学入試に対応できる語彙力をつけるために英単語集の「LEAP」を使用します。“予習→授業→復習”のサイクルが習慣化されていない場合は、一刻も早く習慣づけることが大切です。一つ一つの積み重ねが大学入試にもつながっていきます。3年生になってから受験勉強を始めるのでは間に合いません。日頃から地道に学習を積み重ねていきましょう。週4時間の授業の内、3時間は日本人の先生による教科書主体の授業、1時間はALT（外国人英語指導助手）の先生をまじえたコミュニケーション活動主体の授業です。

3 学習方法

<予習> “疑問点を明らかにしておこう”

①予習ノート

必ず予習ノートで予習して授業に臨みましょう。新出単語だけでなく、意味の分からない単語の意味調べは必ずしておくこと。本文のどこが分からないのかを明らかにしておくことが大切です。



<授業> “授業中にしっかり身に付けよう”

①英語のネイティブスピーカーの先生による授業もあります。英語を英語のまま聴いて理解し、積極的に使ってコミュニケーション活動に取り組みましょう。

②ノートの取り方

黒板に書かれた重要事項はもちろん、口頭で説明された事項も書き込みましょう。また、配付されるプリントは、ファイルして保管しておきましょう。

③確認テスト、小テスト

単語テスト（週1回）を始め、単元ごとにスピーキング・リスニング・リーディング・ライティング等の復習確認テストを行います。なお、単語は週1回のテストの前だけでなく毎日学習し、1冊を何度も繰り返すことが大切です。

④質問しよう

不明な点はどんどん質問をして、解決しておきましょう。



<復習> “授業内容はその日のうちに復習しよう”

①教科書・予習ノートの復習とワークブック

教科書の本文音声（CD またはアプリ）を聴いて、授業のポイントを確認しながら毎日音読をしましょう。その後、付属のワークブックで授業内容をしっかり復習しましょう。

②宿題

毎週末、課題が出されます。長文読解、文法語法、リスニングを含む総合問題等です。家でじっくり取り組みましょう。問題を解いた後、意味のわからない単語なども辞書で調べましょう。

宿題に丁寧に取り組むことは、応用力をつけ、後に大きな力になっていきます。

<英語の外部検定試験>

高校では、まず英語検定準2級に挑戦し、卒業時までには2級の取得をめざしましょう。大学入試で全国のライバル達と肩を並べるには、英検2級の実力がどうしても必要です。入学後は常にこのことを意識して、他の外部検定試験（TOEIC など）にも興味を持って積極的に取り組みましょう。英検の取得や4技能スコアの到達度が、大学入試等、今後の進路に役立つことも少なくありません。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。具体的な評価方法は以下の通りです。これらの項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

- (①) 知識・技能……定期考査（中間・期末考査，学力テスト），小テスト，課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法
- (②) 思考力・判断力・表現力…定期考査（中間・期末考査，学力テスト）授業に対する姿勢や態度，発問に対する発表内容
- (③) 主体的に学習に取り組む態度…授業に対する姿勢や態度，発問に対する発表内容，課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法

(2) 評価規準

| | 知識・技能 (①) | 思考力・判断力・表現力 (②) | 学びに向かう人間性 (③) |
|------|--|---|--|
| 評価基準 | 各単元で習得すべき文法項目に関連する文の特徴や決まりを理解している。また，本文の内容を整理し，学習した新語などを用いて話す技能を身につけている。 | 各単元の内容に応じてインタビュー等を行い，要点を捉えている。また，得られた情報を整理して，感想や記事をわかりやすく書いている。 | 各単元目標の活動をおこなうために，各単元の概要・要点・詳細・メッセージなどを捉えようとしている。 |

5 学習計画

| 学期 | 月 | 課 | タイトル 【評価の観点】 | 学習のねらい | | 考査等 |
|---------|--------|-----|--|--|---|-------|
| | | | | 指導項目 | 主な言語材料 | |
| 1 学期 | 4 | L1 | Bringing Out the Best in Himself 【①②③】 | 英語を学習しながら NBA 選手になる夢を実現した八村塁選手の半生を養った物語文。自主・自律の精神を養い、他者との協力を重んずる態度を養う。 | ・現在形／過去形／進行形 ・未来表現 | 学力テスト |
| | 5 | L2 | Hold On, Anzu! 【①②③】 | 捨てられた小型犬が警察犬として活躍するまでを述べた物語文。個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす精神を培い、生命を尊ぶ態度を養う。 | ・現在完了形／現在完了進行形 ・過去完了形／過去完了進行形 | |
| | | L3 | We Can Make a Difference 【①②③】 | 世界の人々が受けている気候変動の影響と、問題への取り組みについて述べた説明文・意見文。自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・助動詞 ・助動詞の過去形 | 中間考査 |
| | 6 | L4 | Creative Problem Solving 【①②③】 | 人間の心理や行動の特徴を利用し、創造的にポイ捨てをなくす方法を述べた論証文。公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養う。 | ・さまざまな受動態（be 動詞＋過去分詞） ・前置詞 | 期末考査 |
| | 7 | L5 | Canned Bread to Feed the World 【①②③】 | 食糧廃棄問題の解決と飢餓地域への支援を可能とするシステムを構築したパン・アキモトの取り組みを述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する精神を養う。 | ・不定詞（to＋動詞の原形）／SVO＋to do ・SV（知覚動詞・使役動詞）＋O＋動詞の原形 | 学力テスト |
| 2 学期 | 9 | L6 | Could We Have a Real Jurassic Park? 【①②③】 | 恐竜再生の可能性について論じた説明文。幅広い教養を身に付け、真理を求める態度や道徳心を養う。 | ・動名詞（doing） ・SVC（分詞） | 中間考査 |
| | 10 | L7 | Behind the Price Tag 【①②③】 | 安価な衣類製造プロセスにおける労働者の実態を述べた説明文と、問題に対して対立する二者の意見文。正義と責任を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。 | ・SVOC（分詞） ・分詞構文 | |
| | 11 | L8 | The World's Winter Festivals 【①②③】 | 世界の冬の祭りを比較し、その共通性について論じた説明文。日本をはじめ他国の伝統や文化を尊重する精神を培う。 | ・比較に関する表現 ・従属接続詞 | 期末考査 |
| | 12 | L9 | Talking Trees 【①②③】 | 木々が大きな森となって繁栄するために互いに協力している科学的事実を述べた説明文を通じ、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・関係代名詞（who, which, that, whom, what） ・関係副詞（when, where, why）／関係代名詞の非制限用法 | 学力テスト |
| 3 学期 | 1 | | | | | |
| | 2 3 | L10 | Capturing the Reality of the World 【①②③】 | フォトジャーナリスト安田菜津紀氏が仕事を通じて学んだ使命について述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。 | ・仮定法過去／仮定法過去完了 ・仮定法を使った表現 | 学年末考査 |